

金属団地ニュース





三組合合同講演会開催

11月18日(月)午後1時30分より組合研修センター 3階集会室において、岐阜県中小企業団体中央会の組合等活動支援事業を活用し、川崎岐阜協同組合、岐阜県可児工業団地協同組合、当組合の三組合合同講演会(兼11月度月例会)を開催しました。

講師には、元ソニーのエンジニア、現在は独立起業し、中小企業の経営コンサルティング業務をはじめ、企業や各大学への講演など多方面にてご活躍中の(株)ダヴィンチ・ブレインズ 代表取締役石川耀弓氏をお招きし『隠れたチャンピオン企業たち！世界が認める日本の中小企業の底力で地域を元気にするモノづくり』と題し、日本人にはあまり知られていないが世界が認める中小企業メーカーの好事例を交えて、経営戦略等についてご講演いただきました。



『フィールウェア』と言う聞き慣れない言葉が講演中に出てきましたが、心や感性と言った目に見えないものを匠の技と融合し見える化したものをこう呼ぶそうです。

そして実際にフィールウェアプロジェクトとして中小メーカーが取り組んだ数々の製品をお持ちいただき、参加者は興味を持って手に取り回覧。コストやリスクを頭に置きながら新規事業を考える場となりました。

第71回中小企業団体全国大会に参加

11月7日(木)、鹿児島アリーナで開催された『第71回中小企業団体全国大会』に、今井理事長、鈴木副理事長、小栗常任理事、林事務局長で参加してまいりました。【新時代の幕開け 団結でひらく組合の未来 ～時空を超えて 舞台は鹿児島から～】をキャッチフレーズに、大会には全国から中小企業団体の関係者約3000人が集まりました。大会メインステージには6つのスローガン、①生産性向上・ものづくり対策の強化、②消費税対策と事業承継施策の強化、③労働・雇用・社会保険料対策の推進、④まちづくりの推進と商業・サービス業対策の拡充、⑤震災復興、豪雨・風水害等対策の拡充、⑥中小企業組合等連携組織対策の拡充が掲げられ、大会決議案、I.中小企業・小規模事業者等の生産性向上支援等の拡充、II.中小企業の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進、III.震災復旧・復興支援、豪雨等による災害対策の拡充、IV.中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備に関する26項目について、満場一致で採択されました。



油流出時訓練

11月13日(水)正午から環境委員会と青年部合同で油流出時訓練を実施しました。

冒頭、委員長より大雨による浸水で佐賀県の鉄工所が油流出事故を起こした話をされ、注意喚起を促しました。各務原市のハザードマップによると、団地内企業も浸水の被害を受ける企業が多々あります(0～0.5m未満の浸水)。リスクを認識し、災害に備えた工場設備対策を講じたいところです。

さて訓練は丸太を利用してオイルフェンスを張り、流出油を回収するものと、表面の油をオイルプロッタで回収する方法の訓練を実施いたしました。



金山神社祭礼と金山奉賛会総会

11月8日(金)、金山神社祭礼が伊奈波神社境内の金山神社にて斎行され、金属団地からも会員が参拝しました。

暦の上では立冬ですが日中は暖かく、神事は厳かに進められました。結びの宮司挨拶では、この地方における古代の製鉄について、冷たく乾いた風“伊吹おろし”を効率的に利用することにより、製鉄が興隆したのではないかと話され、鉄に携わる業界の更なる発展と安全を祈願し終了致しました。その後参集殿にて金山奉賛会の総会と懇親会が行われました。



情報ファイル

R2“新規高卒獲得”のために その7

“新規高卒応募・内定者”獲得：成功事例の紹介 その1

先月までは、新規高卒等を獲得するための求人活動について述べさせて頂きました。今回は、人事・採用担当者の様々な工夫・努力により、“新規高卒の応募・内定”を獲得されている企業の成功事例について紹介させて頂きます。

■成功事例1：早朝“5時”に求人票持参？ 見事に応募・内定者獲得！

私が各務原市で今の仕事を始めさせて頂いた平成28年4月中旬に、新規高卒採用について相談を受けたA社(従業員数：100名)の事例(私にとって、記念すべき“相談第1号”)です。

前年度の求人票受け付け開始日直後に社長から、「岐阜工高から生徒を採用するように！」との指示を受け、7月下旬に岐阜工高に求人票を持参されたところ、進路指導部の教員から「就職希望の生徒は全員受験先企業が決まっており、御社を受験する生徒はいません。」と言われたとのことでした。当然、この年の応募はありませんでした。「今年は、どうしても岐阜工高から採用しなければいけないので、どうしたらいいでしょうか？」という、切羽詰まった厳しい内容の相談でした。

「高校生の受験先企業決定までの“流れ”と“攻略”ポイント」を説明しながら、求人对策を練らせて頂きました。対策として、①学校を訪問して進路指導室に“自社の情報ファイル”を作成すること。②求人ターゲット学科の教員を自社の見学に招き事業内容を理解してもらうこと。そして、求人票受付番号区分と内定企業との関係を説明して、③今年度の求人票の提出では“求人データベース(受付一覧表)のトップページへの掲載”を目指すこと、そのために、求人票受付初日の8時半には学校に到着すること、の具体的な3つの行動計画を立てて実行して頂きました。

学校訪問は、ゴールデンウィーク前までに行って頂き、進路指導部で情報提供をした後、求人ターゲットの学科を訪問して学科主任及び3年生の担任とも面談して頂きました。この時に、自社見学の誘いも合わせて行って頂きました。学科主任と3年生担任の企業見学は5月中旬に行って頂き(私も同行)、社長様に工場を案内して頂きながら、詳しく事業内容等について説明をして頂きました。

求人票の提出は、受け付け開始日(7月1日)の早朝5時に学校に到着して、玄関にて開錠を待っていたとのことでした。7時前になって部活動指導の教員が出勤し、驚きながらも椅子を準備して下さったとのことでした。無事、いちばん初めに提出ができ、求人データベースへは、“目標のトップページ掲載”が成りました。ちなみに、受付番号は“10”番でした。(前年度は“832”番)

学校では、「7時前に求人票の提出に来校された会社があった。」とかなり話題になったと、後で進路指導部の教員からお伺いしました。いっぺんにA社の名前が多く教員に認知されたようでした。

このような採用担当者の努力の甲斐があって、この年は求人ターゲットの学科からの応募・内定者1名を獲得することができました。その後、他の学科にも拡大して応募・内定者が続いています。

■成功事例2：求人学科を“限定”して応募・内定者獲得！

平成28年5月末に開催した「新規学卒等求人票取り扱い説明会」が終了した後、B社(従業員数：10名)の社長様から「今年は、どうしても高校生を採用したいのですが、どのようにしたらいいのでしょうか?」と相談を受けました。事業内容や求める生徒像等について詳しくお伺いしながら、社長様と一緒に幾つかの“戦略”を立てさせて頂きました。

前述の事例のように、学校への訪問及び教員を自社見学に勧誘することは当然行うこととしましたが、「この仕事内容に、必ず興味を持つであろう生徒をターゲットに“ピンポイント”で求人票を提出」することを勧めました。B社は従業員が10名ですが、“注文〇〇”を専門に製造されていることから、①岐阜工高のデザイン工学科には「課題研究」という実習科目で1年間〇〇づくりを学んでいる生徒が10名いること、②デザイン工学科へは”学科指定“の求人がとても少ないこと、③〇〇製造企業からの求人はほとんどなく、ライバル企業が少ないこと。また、④建設工学科にも”〇〇“について学んでいる生徒が何人かいることをお伝えし、女子生徒の採用も可であることを確認して「デザイン工学科・建設工学科の学科指定」で求人票を作成し、提出の際に「女子生徒の受験を歓迎します。」と進路指導部に伝えて頂きました。求人票は受付初日の午前中に社長様自らが持参され、受付番号は”126“番でした。B社は、岐阜工高への求人票の提出は初めて(他の高校も含めて)とのことでした。

9月下旬に、社長様から満面の笑顔で、「岐阜工高から初めて採用できました。デザイン工学科の女子生徒です。」と報告を受けました。その後、デザイン工学科及び建設工学科からの女子生徒の応募・内定者(すべて同じ部活動の生徒のようです。)が獲得できています。

今年度は、2名の採用予定に対して、岐阜地区や中濃地区、飛騨地区の高校から2倍を超える応募者があり、内定者を決めるのに苦労したとお伺いしています。これは、社長様自らの広域の高校への訪問やきめ細やかな情報提供、インターンシップや教員の企業見学の受け入れなど、継続的かつ精力

的な高校とのパイプづくり(努力)の成果だと思えます。

今年、岐阜工高デザイン工学科に依頼して、自社をPRするDVDを制作されています。完成後は、同社のホームページに掲載して求人活動に活用する予定とお聞きしました。生徒たちの制作指導をしているのが20歳代の教員ですので、B社と同学科との“いい関係”はこの先長く続いていくのではと思っています。一人の生徒の採用を機会に、ここまで高校との連携を継続・強化されている社長様の努力には感服しています。

■成功事例3：急遽、雇人協に入会、「雇用対策懇談会」に出席して大幅な応募・内定者獲得増！

「何人か高校生を採用したいのですが、思うように応募がありません。今春の新規高卒入社は1名だけでした。どうしたら応募者を増やせるでしょうか？」と平成29年5月下旬に、C社(従業員数：500名)の採用担当者が相談に来られました。C社は、主力工場は各務原市内にあるのですが本社は愛知県にあり、市近隣の高校での知名度は高くないような状況であると判断し、6月中旬に開催予定であった「雇用対策懇談会」(市内企業と高校、大学等の進路担当教員等との意見交換会)に参加して、高校の教員と面談することをお勧めしました。この会は「各務原市雇用・人材育成推進協議会」主催のため急遽同会に加入して頂きました。



写真1 C社参加の雇用対策懇談会の様子



写真2 参加者間の名刺交換・歓談の様子

雇用対策懇談会ではC社の採用担当者から、参加の高校や大学の就職担当教員へ自社のPRをして頂くとともに、同会終了後には、多くの教員と名刺交換をしながら、自社の見学に誘って頂きました。また、C社では部品を自動梱包する機械を自社開発中であり、工業高校機械系の生徒が採用したいとの希望でもあったので、市近隣の工業高校電子機械科の学科主任を企業見学に誘って頂きました。

高校への求人票の提出にあたっては、「求人票受付番号区分と内定企業の関係」について説明して、受け付け初日の午前中には求人ターゲット校への提出を済まされることをお勧めしました。当日は、他の部署の社員にもお願いをして“3班編成”にて、岐阜地区、中濃地区の高校へ同時展開されたとお聞きしました。その結果、電子機械科の生徒を含めて10名を超える新規高卒の応募・内定者を獲得できたとの報告を受けました。この年は、二次募集についての問い合わせも学校からあった様でした。

企業の知名度を短期間で高め、高校等の教員に自社の事業内容を理解してもらうために採った方法が、①雇人協への加入&雇用対策懇談会への参加、②教員の企業見学、③求人票の受け付け開始初日の午前中提出の3点です。この中で、一番効果があったのは、相談を受けてすぐに雇人協に加入頂き、2週間後の雇用対策懇談会に参加できた事ではないかと思えます。短い期間で一人の採用担当者が多くの高校を訪問して自社をPRするには限界があります。金属工業団地協同組合の企業様も、雇人協に加入して“チーム・かかみがはら”で採用活動をされてはいかがでしょうか。雇人協の活動については、2018年の4月号で紹介させて頂いていますので参考にして頂ければと思います。

次回、新年号では、目標を達成するための一手法“OW64”について紹介させて頂く予定です。

(文責:各務原市産業活力部商工振興課企業人材全力応援室長 長屋千秋)

株式会社 共セツ機械精工

株式会社 共セツ機械精工は、現会長が前身である共設機械精工として創業いたしました。

当社は、ジグ研削・ジグボーラー加工を専門としており一般金属から焼入鋼などの難削材まで加工しています。精密加工を念頭に、穴ピッチ・穴径・外径・異形穴・形状加工等のミクロン単位の加工精度を達成しています。

特定の取引先が無く、「どちらのお仕事(客先・分野等)をされてますか?」と聞かれると少々答えに困ってしまいます。基本的に当社で加工できる製品は何でも引き受けさせて頂いておりますので、自動車関係・航空機関係・工作機関係・検査具・試作品・修正品であったりと様々です。業務体系から少量多品種の加工を得意としています。穴あけ等でお困りでしたら、お声を掛けていただければ幸いです。



さて、特に目新しいネタがないので当社の沿革を紹介させていただきます。

1983年 金属団地にて「共設機械精工」創業

創業時は2台のジグボーラーで専用機をメインに加工していたと聞いています。

1987年 WAIDA JG-35S 治具研削盤を導入

焼入鋼の加工にも対応出来るよう導入。同じ団地内のメーカーさんですね。

2001年 工場機能を各務原市各務船山町に移転

各務原高校のすぐ近くです。

2003年 WAIDA JG-70UMT 治具研削盤を導入

大型の焼入鋼にも対応出来るよう導入。

2018年 社名を「(株)共セツ機械精工」に改め法人化

法人化と共に世代交代いたしました。



情報伝達システムが発達しグローバル化が急速に進んでいる社会経済ですが、この先5年、10年と発展していけるよう精進していきたいと思っております。



読む茶道！④ 「茶道が重んずるおもてなしの心」

こんにちは！ 茶道を気軽に楽しんでもらおうと始めたこの連載。今回は「茶道が重んずるおもてなしの心」をご紹介します。前回までは「茶湯文化が如何にして始まり人々の生活に定着していったか」をお伝えしました。室町時代中期になると禅を学んだ村田珠光が現在の茶室の原型となる四畳半の空間で茶を点てるようになります。その限られた空間で自らが表現したいもの(コト)を一つだけに絞っていくことを「究極の美」とし、その意識を更に研ぎ澄ましていくことで「表現できることへの感謝」や「時間を共有する相手への感謝」を持ち、茶の湯を通して禅の修行(生きるという事を学ぶ修行)とした「茶禅一味」の精神を育てるところに真の価値があると説かれるようになりました。つまり、茶の湯にとって最も大切なことは、こうあるべきという所作などの「決まり事」ではなく、お茶を点てる方も頂く方も自分を見つめ「当然の感謝の心」を育てるところこそ最も重要であるという教えとなります。何度も何度も繰り返し所作などを一心不乱に稽古することで身につくお点前と同様に「当たり前」の感謝の心を自然に習得する・・・(相手を大切に想う)そんな心こそが茶道で言う「お・も・て・な・し」なのです。この連載を寄稿させていただける事に改めて感謝致します。次回は「茶室はなぜ四畳半？」をお伝えします。

今月の推し菓子

日経新聞でも取り上げられた「どら焼き」で有名な「梅園茶屋」から「年末のご挨拶に大切なあの人に渡したい」逸品をご紹介します。

干し柿

普通の干し柿ではございません！(笑)

長野県伊那産の干柿を使用し、自慢の栗きんとんを詰め込みました。程よい甘味の干柿と栗きんとんが織りなす絶妙なハーモニーは必ず癖になります。

大好評につき事前注文を是非お願いします！



ご注文はこちらへ！

「梅園茶屋」(金属工業団地組合会館内)

TEL 058-383-7151

FAX 058-383-7131

E-mail : umezonojaya@carrot.ocn.ne.jp

大変申し訳ありませんが、12月は茶道教室はお休みいたします。



青年部メンバーに次々と令和ベビー誕生

青年部メンバーの明るいお知らせが届きましたのでご紹介したいと思います。

現在青年部メンバーは11名おりますが、内3名にお子さんが誕生しました。

珍しいことに出産時期も比較的近く、誌面をお借りしてお三方にはお子さんの紹介と喜びや感謝の言葉をそれぞれ綴っていただきました。

ご家族の幸せとお子さんの健やかな成長をお祈り申し上げます。



令和元年11月11日、大野家に長男・耀仁(あきひと)が誕生しました。36時間超の大変なお産の末に、3542gの立派な体格で生まれてくれました。寝ずに付き添っていた私ですが、ドラマ「コウノドリ」みたいになったらどうしよう・・・と内心は不安で、安産祈願のお守りを握りしめて祈っておりました。母子ともに元気で、今はほっとしています。たくさんのお祝いの言葉をいただき、皆様ありがとうございました。

(株)杉山 大野雅尚



令和元年8月27日、山内家に長男・誠一郎(せいいちろう)が誕生しました。妻が高齢出産ということもあり色々心配もありましたが、3024gにて元気に生まれてきてくれました。結婚して11年、最後の最後まで頑張ってくれた妻に感謝です。また、授かるまで長かった分、金属団地の皆様方にたくさんのお応援を頂きましたことに感謝です。本当にありがとうございました。

常盤工業(株) 山内寛明



令和元年11月13日、高橋家に次女の希歩(きほ)が誕生しました。体重2640g軽めですがとても元気です。色々手伝ってくれた家族、仕事を休みまくった私のフォローをしてくれた会社の仲間、そして暖かい祝福の言葉をくださった皆様、ありがとうございました。

良い友達をいっぱいつくって幸せな人生を歩んでくれることを願います。

(有)高橋鉄工所 高橋正光



税を考える

久しぶりの“ふいご”執筆依頼が来ました。少し堅い話題になります。

去る11月11日から17日迄、毎年恒例の「税を考える週間」が行われました。

法人会は、民間における税の分野でのオピニオンリーダーとして、様々な活動をしています。国家の将来を見据えた税の提言活動、税の啓発運動（講演会、各種研修会等）、将来を担う学童に対する租税教育活動などです。中でも、特に重要なのは、この時期に行われる《税制改正に関する提言》です。全国440の単位法人会が、国・県・市町村に対して一斉に提言書を手渡しします。私も11月3日に武藤衆議院議員に、28日に浅野各務原市長、市議会の足立議長に説明を含めて直接お渡ししました。

そこで、今年の提言内容で我々に関係深い項目をいくつかピックアップしてみます。

1. 税・財政改革のあり方

- ・財政健全化は国家的課題であり、歳出・歳入の一体的改革により進めることが重要。
- ・歳入は、安易に税の自然増収を前提とする事なく、歳出は、聖域を設けずに分野別の具体的な削減方法と工程を明示し、着実に実行することが重要であると考えます。
- ・持続可能な社会保障制度の構築は、適正な「負担」と重点化・効率化による「給付」の抑制を可能な限りの「実行」をしないと実現できないと考える。
- ・消費税率引き上げは、国民に痛みを求めるものであり、その前提として地方を含めた政府・議会が「まず隗より始めよ」の精神に基づき身を削るべきと提案する。
- ・法人会は、かねてより税率10%程度までは単一税率が望ましく、低所得者対策は「簡素な給付措置」の見直しで対応するのが適当であることを指摘してきた。軽減税率制度導入後は、国民や事業者への影響、低所得者対策の効果等を検証し問題があれば同制度の是非を含めて見直しが必要であると提言する。

2. 経済活性化と中小企業対策

- ・中小企業の技術革新など経済活性化に資する租税特別措置の拡充と本則化をすべきと提案する。
- ・中小企業投資促進税制は、対象設備を拡充したうえ「中古機械」を含めるべき。
- ・少額減価償却資産の取得価額の損金算入の特別措置については、上限(300万円)を撤廃し全額を損金算入とする事を提言する。
- ・中小企業経営強化税制や中小企業が取得する償却資産に係る固定資産税の特例等を適用するに当たっては、手続きの簡素化と弾力的対処を要望する。

3. 事業継承税制の拡充

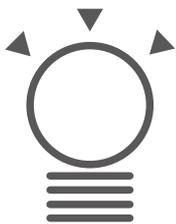
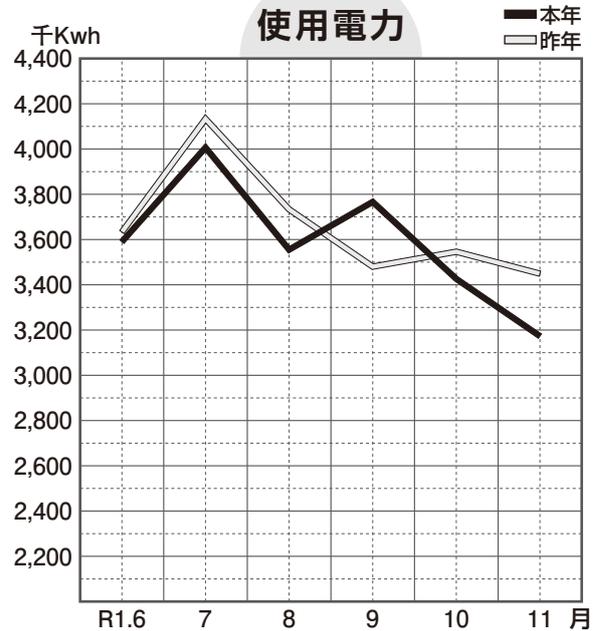
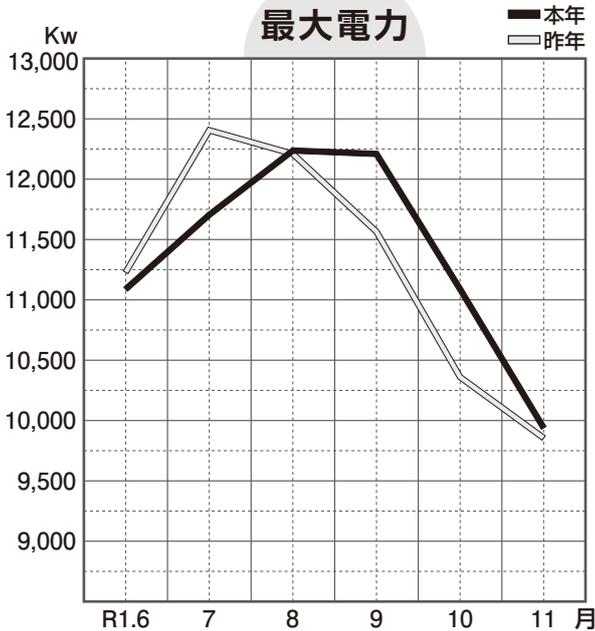
- ・事業用資産を一般資産と切り離し、非上場株式を含めて事業用資産への課税を軽減あるいは免除する制度の創設を提言する。
- ・中小企業の代替わりを促進するため、10年間の特例措置が行われた事は評価できるが、事業継承がより円滑に実施できるよう《猶予制度》ではなく《免除制度》に改めると共に、経営者に向け制度周知に努める必要があると提言する。

実際の提言は、はるかに詳細に亘っております。是非、会社の経営、個人の生活設計の情報として、皆さんにも目を通して頂きたいと思えます。「提言書」と「提言に関する説明」の2冊の小冊子になっています。事務局に置いておきます。参考にしてください。



お知らせ

令和元年11月分電力使用状況



電気は正しく使いましょう!!

年末の大掃除に電気機器の安全も確認してみませんか？

大掃除は普段、目の行き届かない場所を確認するチャンスです。この機会に一度電気機器の安全も併せてしてみてください。

● **たこ足配線をしていませんか。**

たこ足配線によって制限を超える電流が流れると過熱して火災の原因になることがあります。使用できる電流値はテーブルタップのコンセント部に記載されていますので確認しましょう。

● **差し込んだコンセントプラグにホコリがたまっていますか。**

机や機械の裏などに隠れたコンセント(テーブルタップ)にプラグを差し込んだままにしていると、チリやホコリがたまります。そこに湿気が加わると、差し刃間に電気が流れ突然発火することがあります。これをトラッキング現象といい、こまめに清掃して下さい。火災の原因となり危険です。

● **コンセントやプラグが破損していませんか。**

破損しているコンセントやプラグを使用すると、接触不良によって過熱し、カサイに至る場合があります。また、内部の金属がむき出しになっていると感電やショートする危険性があります。電源コードが重量物に踏まれている場合など被覆が傷んで漏電や火災の減となります。すぐに交換してください。

● **コンプレッサーの配管、ホース、バルブなどから空気が漏れている音がしませんか。**

空気漏れの音をはっきりと聞こえるようなら、1箇所年間約2,000円～4,000円程度の電気代のムダになると言われます。電源コードだけでなく、ホースなどもひび割れていないか確認しましょう。

行事予定

2019 **12** December

16 月	月例会・役員会
17 火	
18 水	
19 木	役員忘年会
20 金	
21 土	団地G・団地G忘年会 『組合休日』
22 日	
23 月	
24 火	
25 水	
26 木	
27 金	仕事納め
28 土	『組合休日』
29 日	『組合休日』
30 月	『組合休日』
31 火	『組合休日』

2020 **1** January

1 水	『組合休日』
2 木	『組合休日』
3 金	『組合休日』
4 土	『組合休日』
5 日	『組合休日』
6 月	仕事始め 川崎岐阜協同組合新年互礼会
7 火	南宮大社初詣・神事並びに新年互礼会(南宮大社8:45出発)
8 水	各務原商工会議所 令和2年新年互礼会
9 木	
10 金	
11 土	『組合休日』
12 日	
13 月	『成人の日』
14 火	
15 水	

■ 1月の行事予定

1月25日☒ 団地G
1月26日☒ 金属団地ボウリング大会

■ 11月度金属団地ゴルフ会

11月23日☒ グリーンヒル関ゴルフ倶楽部
優勝 鳥山 仁 (共和鑄造所) 2位 山村容弘 (山村製作所) 3位 松原伸五 (MTK)

<http://www.g-mecca.jp>

G-MECCA

GIFU METAL ENGINEERING COMMUNITY COOPERATIVE ASSOCIATION

